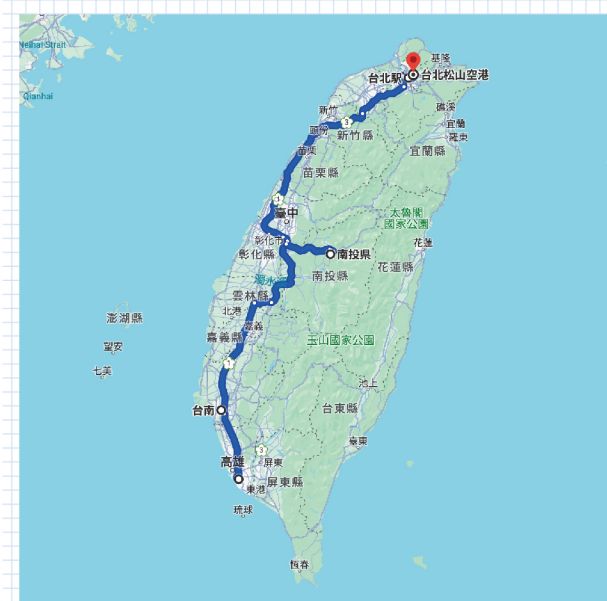




北から南へと縦断しながら、台湾の食文化を比較する旅



阿部倫子・小野アヒョブ
梶原智弘・桑原瑞季
東京女子大学

エリア

北部 中部 南部

テーマ

歴史 文化 建築 芸術・文学 食文化



学びのポイント

4泊5日で北から南へと縦断する旅程で、台湾の食文化を比較しながら学べるプランです。旅の初めに、台北で總統府と国立中正紀念堂を見学し、歴史への理解を深めます。その後は、台湾ならではの食事や、料理を作るアクティビティで民衆の文化にも触れます。台北での学びを締めくくるのは故宮博物院見学です。夜は夜市を訪れます。

台中では餘生紀念館を訪ね、古い神殿でもある南屯万和宮で歴史を感じます。餘生紀念館は映画『セデック・バレ』の題材にもなった場所で、台湾の歴史、民族を考える上で重要な霧社事件について学ぶことができます。台中でも夜市で夕食を食べることができます。台北・台中・台南それぞれの夜市を比較し、地域ごとに独自の食文化があることを理解します。

旅の最後の地となる台南では、奇美食品工場で食の歴史を学んだあと、安平古堡を訪ねます。

参考文献

赤松美和子・若松大祐編『台湾を知るための72章 第2版』明石書店 2022年

邱和龍著、江淑秀・柳本通彦訳『霧社事件：台湾先住民(タイヤル族)、日本軍への魂の闘い』現代書館 1993年

焦桐著、川浩二訳『味の台湾』みすず書房 2021年



中正紀念堂(台北市)

国立中正紀念堂は1975年に亡くなった中華民國初代總統である蔣介石を讃えるために1980年に建設されました。「中正」とは蔣介石の本名です。正面中央の本堂には蔣介石のブロンズ像が置かれ、衛兵によって常に厳重に守られています。毎正時に行われる衛兵交代式はとても見応えがあり、観光客にも人気があります。室内には資料館も併設され、美しく壮大な建造物を見るだけでなく、歴史的背景も学べます。



大稻埕台湾料理研習所(台北市)

台湾料理研究所では、歴史的な建物を改造したキッチンで、複数のコース(1台湾牛肉麵コース、2ルーロー飯コース、3小籠包コース、4ローカル朝ごはんコース)に分かれて伝統的な台湾料理の作り方を学べます。



逢甲夜市(台中市)

台湾最大の夜市の一つで、若者の注目度も高く、たいへんにぎわっています。注目したいのは、「臭豆腐(チョウドウフ)」という揚げた豆腐を甘辛い醤油ベースにつけた料理です。独特の臭いがあるため、この料理を好む観光客はなかなかいないそうなので、挑戦してみる価値があるでしょう。



奇美食品幸福工場(台南市)

この工場では、パイナップルケーキや中華まんなど奇美食品が出している商品の生産過程の見学や、ビスケットやパイナップルケーキの製作体験ができます。それと共に食の歴史を学ぶことも魅力的です。



六合夜市(高雄市)

港に近いことから異国の食文化が伝わり、国際色豊かな屋台が並ぶ夜市になりました。

1 日目 START 台北松山空港

台北

總統府

城中豆花伯50年老店

国立中正紀念堂

金峰魯肉飯

2 日目

鮮堡漢堡

大稻埕台湾料理研習所

国立故宫博物院

寧夏夜市

3 日目

鼎元豆漿

南投

霧社事件餘生紀念館

小上海阿和小籠包

台中

逢甲夜市

4 日目

王記菜頭果糯米腸

南屯万和宮

菁選涮涮鍋南屯海鮮火鍋

台南

奇美食品幸福工場

安平古堡

高雄

六合夜市

5 日目

高記牛肉湯

如邑堂餅家

GOAL 高雄國際空港

※こちらのコースは「みんなの台湾教育旅行記」2023年10月に募集したものをベースに加筆・添削し写真を一部差し替えています。